

・第1部 総会 ・第2部 うまいもの懇親会&交流会

交流会 参加出展予定リスト

会員交流会に御参加を！



皇學館高等学校 同窓会会長
坂田 巧
(第一期生)

母校の創立五十周年をいよいよ来年に控え、諸行事の準備も着々と進んでおります。現時点での概要は、式典、講演会、交流会の開催、記念誌の発行、その他の記念行事を実施する予定で具体的なことは現在策定中であります。

さて、本年四月末に皇學館大学の創立百三十周年・再興五十周年記念式典・記念事業が二日間に行われましたが、私どももこれを参考にさせていただき、充実した内容のものにしてゆきたいと思っております。

また、同窓会会員はじめ現・旧教職員の皆様方、そして神社界や実業界及びその他の方々からも、多くのご浄財をご寄付いただいておりますこと、紙面を借りまして厚く御礼申し上げます。

同窓会の事業の一つ、ホームページは、まだまだ充実していませんが、今後会員の皆さんとの唯一のパイプとなりますので、五十周年を目標に完全なものに仕上げてゆきたいと思っております。

在校生への支援も毎年、学業面やクラブ活動に対して行っており、担当の先生方より感謝の言葉を戴いております。

また、創立五十周年を機に、同窓会本部体制の充実を図りたいと思っております。年度幹事の届出がない年度がありますので、各期から必ず二名御選出をお願いします。

今年の総会及び懇親会は、来る八月五日(日)に開催します。メインの事業「交流会」を五十周年につなげて行きたいと思っておりますので、多数のご参加をお願いいたします。

周年行事について



第十一代学校長
中村 貴史

皇學館高等学校創立五十周年の式典・記念行事は、平成二十五年九月十四日(土)におこなわれることが決まりました。この周年行事が、来し方を顧み、今後の発展につながるエポックになることを願わずにはいられません。その詳細については、別途、後日の案内に譲りますが、以下、概略をお伝えします。

* * *

九月十四日の当日は、午前中、皇學館大学体育館で記念式典、午後、皇學館大学記念講堂に会場を移して記念行事がおこなわれる予定です。午後の記念行事は、記念講演、記念アトラクションという構成ですが、アトラクションについては、目下、調整中。記念講演は、京都産業大学名誉教授、皇學館大学の特任教授の所功(ところ・いさお)氏に講師をお願いしました。最近の所先生は「たかじんのそこまでいって委員会」のコメントターで知られていますが、手堅い考証を本領とする日本古代法制史の研究者であると同時に、平穩中正な経世の論にすぐれたお方でもあります。名古屋大学文学部を卒業後、のちの学長でもあった皇學館大学の田中卓教授の学風を慕って同大学大学院に学び、助教授を経て文部省の教科書調査官に転出、後、京都産業大学教授となり、現在に至っております。

当日の祝賀会や通年の周年行事に関しては、今後の案内にお待ちいただきますが、祝賀会は、同窓の皆さまが中心となつての企画です。周年事業委員会の座長である坂田同窓会長をはじめ、同窓会の皆さまの変わらぬご尽力に、改めてお礼申し上げます。言うまでもなく皇學館中学の卒業生は、皇學館高校の卒業生として包含されます。高校同様、

中学校の周年行事についても、ご理解・ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

さて、通年の周年行事として予定されている皇高祭や諸展示、体育祭行事などの催しのなかで、吹奏楽部のコンサートは、周年のフィナーレを飾る企画です。画期的なコンサートに期待していただきたいと思います。

応援歌は、すでに完成しました。作詞が島田陽子さん(代表作に「世界の国からこんにちは」70万部のテーマソングがあります)、作曲が池田八声さんで、タイトルは、「栄光のうた」。素直ないい応援歌ができたと思います。ただ、応援歌は、校歌などと同様に、機会あるごとに歌われ続けなかつた、次第に形が整つていき、名曲として育てられていくという性質を本来的に備えたものです。その意味で、母校の今後の一層の活躍に、さらに期待がかけられることになるでしょう。

周年記念誌は資料収集の段階が了り、記述が進んでいます。「高等学校五十周年・皇學館中学三十五周年 史稿」がそのタイトルです。稿と名付けられるのは、こうした種類の書物に絶対的な完成体というものが存在しないという考え方から来ています。高校にはすでに「三十周年記念誌 皇學館高等学校」があつて、同書は平成五年十一月刊行、A四判・クロース装で二百余頁の牢固とした体裁の労作です。編集委員には、内田康郎、嶋田淑夫、橋泰夫、三輪尚信、村崎孝、森田三三三、山下久樹の諸先生が名を連ねますが、現在、村崎教諭が現役であるほかは、故人となつた山下教諭を別に、その他の先生方は、退職されています。去年の雪、いづこにありやの想いを実感させられるところで。のち教頭となつた三輪先生が中心的な役割であつたことを、村崎先生からうかがいました。が、この先行作の成果の上に、今回の「周年史稿」は作成されていきます。平易で、手にとつて気軽に読みたいだけの内容と、ハンディな形態の仕上がりをご想定しています。

母校に赴任して



第三十八期生 山崎 陽祐

平成十四年度に皇學館高校を卒業し、七年後の四月、縁あつて母校に奉職することになりました。教科は保健体育。主に武道の柔道を担当しています。稀薄になりつつある礼儀・相手を尊重する心を身につけてもらうよう、自分なりに工夫し指導しています。

赴任してから今も訓育部の一員として、学校業務に当たっています。思春期という多感な時期には少々煙たがられる部署ではありますが、子どもたちが社会に出るまでに必要な判断力を身につけてもらうべく、他の先生方と協力しながら訓育指導をしています。

クラブ活動では、柔道部の顧問となり、後輩である生徒たちと日々厳しく、そして楽しく目標に向かって、夢に向かって充実した毎日を送っています。

最後になりますが、微力ながら、今後も本校生の教育に力を注いでいきたいと思っています。

歌力で、感動や喜び、元気を届けたい

第四十期生 中西 里恵

同窓生の皆さま、はじめまして第四十期卒業の中西里恵と申します。

本年四月四日に日本クラウン(株)より「中西りえ」として「北海男節」でデビューさせていただきました。

しつけの厳しい学校で色んな勉強をさせていただいた事が歌の道で役立っていることを今改めて深く感謝しております。

私はもとと、伊勢市横輪町(よこわちよう)の

まち興し歌手として地元伊勢市を中心に五年間の町興し事業で歌わせていただき、今回全国デビューに至りました。きっかけとしては、当時小学生三年生の

中西りえ

本年四月四日日本クラウン(株)より「北海男節」でデビュー



時に出場したカラオケ大会の審査員でありました作詞家みずの稔先生と昨年に再会し、のちに私の師匠である作曲家 櫻田誠一先生に歌を聞いていただく機会を得た事でした。

その後正式に弟子として認められ約一年間のレッスンを重ねデビューが決まったときは夢のようでした。

そんな恩師である櫻田誠一先生は本年三月十九日急性骨髄性白血

病でお亡くなりになりました。デビュー約二週間前でしたのでデビューの姿は見えていたことができませんでした。今は少しずつ受け止めていくようにしていますが、デビュー当時はその事実を受け止められませんでした。ですが、悲しんでばかりはいられません。先生は色んな想いがいっぱい詰まった曲「北海男節」を残して下さいました。私の宝物です。

「北海男節」は北海道最南端「汐首岬」を舞台にした海の男らしい曲です。「なんだなんだこらよ」という歌詞の通り、なんだ、負けるか!と力強い歌は色んな方に向けた応援歌でもあり、自分自身も励まされるそんな曲になっています。

これからデビュー曲「北海男節」を全国の方に聞いていただき、中西りえのキャッチコピーでもある「歌力(うたちから)」で喜びや感動、元気をお届けできる歌い手になることを目標に精進して行きます。どうか同窓生の皆さまには温かいご支援の程よろしくお願い申し上げます。

全国大会出場を目指して

男子バドミントン部

インターハイをめざして

濱口 太郎

男子バドミントン部の目標は、インターハイでベスト8に入ることです。また、将来社会に出て活躍できる人間性を身につけることを目的として、毎日頑張っています。

今回、個人戦ではダブルスで一年生の大谷・竹内が準優勝し、インターハイ出場の切符を手に入れました。一方、団体戦の決勝では最後の一本まで諦めず全力でプレーに集中しましたが、惜しくも準優勝で、念願のインターハイ出場は叶いませんでした。インターハイ出場を果たす後輩二人には、日々の練習の成果を十分に発揮して活躍してくれることを心より願っています。最後になりますが、今まで応援してくださって本当に有り難うございました。

女子バドミントン部

インターハイ連続出場

向原 怜奈

昨年に引き続き、インターハイ出場が決まりました。今回で二回目の出場になります。厳しい戦いとなりましたが、なんとか勝つこ

とができ、諦めないということの大切さを学びました。

個人戦でもダブルスで一組優勝し、シングルスでは優勝・準優勝を勝ち取り、インターハイ出場を決めました。インターハイでの目標は、ベスト8に入ることです。そのために日々練習に励んできました。大会では、後悔のないよう、全力でプレーしていきたいと思っています。また、今回このような結果を残すことができたのは、顧問の先生方や家族、そして支えてくださった沢山の方々のおかげです。県代表であるという誇りと感謝の気持ちを忘れずインターハイに臨みたいと思います。

囲碁・将棋部(囲碁)

全国大会出場

吉居 幸佑

五月に県選手権で準優勝し七月の下旬に東京で行われる全国高校囲碁選手権と、八月上旬に富山県で行われる全国総合文化祭(囲碁部門)への出場が決まりました。

実は中学二、三年生の時に全国大会に出場していました。その場が今回想される日本棋院で一年ぶりに打てると思うと今でも少し緊張しています。中学の時はあまりいい成績

とはいえませんでした。総合文化祭は、初めての出場です。どのくらいレベルが高い大会なのか楽しみで

す。目標は決勝トーナメントに進出することです。全国大会はレベルが高くてどこまで行けるかわかりませんががんばりたいと思います。

囲碁・将棋部(将棋)

全国大会初出場

三年七組 牧井 奨平

五月に行われました三重県予選を突破し、八月に富山県で行われます全国大会(将棋部門)男子個人の部での出場が決まりました。全国大会までの約三ヶ月間、週一回の部活動の他に、パソコンの対局を積極的にを行い、書籍による知識を深め大会に臨みたいと思います。

三重県代表として悔いの無いよう、そして皇學館生として全国の舞台で活躍出来るよう初戦突破を第一目標に、最後まで諦めず全力で戦いたいと思います。

野球部

甲子園初出場に向け

昨年の夏、シード権を獲得しながらも、三回戦で敗退し、悔しい思いをしながら、僕達の新チーム

吹奏楽部

吹奏楽部の活動について

三年生 部長 中村 栄里香

私たちは今、八月に行われる三重県吹奏楽コンクールに向けて日々練習に励んでいます。昨年も出場し二度目の東海大会に駒を進めたものの、銀賞だったため全国大会には出場できませんでした。今年には昨年の悔しさをバネに県大会は一位で突破し、東海大会では初の金賞を目指します。そして皆で一九となって全国大会に出場できるよう自分に負けず諦めない強い気持ちを持って挑みたいと思います。

はスタートしました。スタート直後は思うように勝てず、チームが一つになれないまま大会を迎え敗退し、また悔し涙を流しました。そしてその敗戦の悔しさをバネに苦しい練習をしていましたが、それだけでは勝てないという気持ちで「挨拶日本二を目指すことに決めました。」

野球だけしているチームは他にもありますが、この野球部は野球以外のことを大切にするにより、そういったチームに精神的に有利に立てると思います。

三年生にとっては残りわずかな高校野球生活となりましたが、今まで大切にできたものを、さらに深めていきたいです。今年の夏こそは、甲子園に初出場し、新たな歴史を刻みたいと思います。

退職された教職員の皆様		新任の教職員の皆様	
・教員(英語)	村田 貢	・教員(学監)	上村 桂一
・教員(家庭)	井田 裕子	・教員(英語)	東 悦子
・教員(神道)	山本 直明	・教員(理科)	杉田 貴大
・教員(英語)	花井 和美	・教員(理科)	太田 有香
・教員(国語)	上野 祐介	・教員(数学)	上野 哲八
・事務	中尾 信一	・教員(数学)	岩城寿美和

(敬称略)

平成 24 年 3 月卒業生進路状況

国立大学

茨城大学
筑波大学
信州大学
愛知教育大学
三重大学
滋賀大学
京都教育大学
島根大学
山口大学
徳島大学

公立大学

釧路公立大学
横浜市立大学
静岡県立大学
三重県立看護大学
福岡県立大学

私立大学

神田外語大学
青山学院大学
北里大学

慶應義塾大学
國學院大学
国土館大学
駒澤大学
順天堂大学
上智大学
成蹊大学
成城大学
専修大学
玉川大学
中央大学
帝京大学
東海大学
東京理科大学
日本大学
法政大学
明治学院大学
立教大学
神奈川大学
金沢工業大学
福井工業大学
愛知大学

愛知学院大学
愛知工業大学
愛知淑徳大学
金城学院大学
相山女学園大学
中京大学
中部大学
名古屋外国語大学
藤田保健衛生大学
南山大学
日本福祉大学
名城大学
東海学園大学
日本赤十字豊田看護大学
皇學館大学
鈴鹿医療科学大学
四日市看護医療大学
長浜バイオ大学
京都外国語大学
京都産業大学
京都学園大学
京都女子大学

京都橘大学
同志社大学
同志社女子大学
佛教大学
立命館大学
龍谷大学
大阪工業大学
関西大学
関西外国語大学
近畿大学

摂南大学
関西学院大学
甲南大学
神戸学院大学
神戸女子大学
畿央大学
福山大学

平成 24 年 3 月卒業生進路一覧表

進路		男子	女子	合計
進学者	四年制大学	155	146	301
	短期大学	0	16	16
	専門学校	13	20	33
	進学待機者	9	3	12
大学校・留学		0	0	0
就職	一般企業	0	5	5
	公務員	2	0	2
合計		179	190	369

住所変更等は皇高同窓会ホームページで
変更をお願いいたします。

<http://www.kogakkan-d.jp>

ホームページ以外での住所変更等は必ず封書をお願いいたします。
封書で住所変更(名簿変更)等のご連絡をしていただく場合は、
●お名前 ●変更直前のお名前 ●卒業時のお名前
●会員番号(卒業年度・卒業期) ●郵便番号・住所
をご記入の上、皇學館高等学校へ送付してください。

【送付先】〒516-8577 三重県伊勢市楠部町 138

皇學館高等学校 事務室 同窓会担当者 宛

事務室からのお願い

卒業証明書・成績証明書・調査票等が必要な場合は事前に電話連絡をお願いいたします。突然、来校されても、卒業証明書を除くほかの書類については、翌日以降の発行になります。即日発行はできませんので、その点ご注意ください。

受付時間

月・金 午前 8:30 ~ 午後 4:00
土 午前 8:30 ~ 午後 12:00
(日曜・祭日・第二・第四土曜日は休業)
学校行事にて変更の場合あり。

連絡先 皇學館高等学校事務室

☎ 0596 (22) 0205